

こんにちは!

# 村立東海病院



## 村立東海病院の「健康公開講座」をご存じですか？

村立東海病院では健康講座を定期的に行っており、6月28日には第11回健康公開講座「**誤嚥性肺炎**について」を開催しました。平日開催にも関わらず、予約開始から間もなく定員に達するほど、多数のご応募をいただきありがとうございました。参加できなかった方も多かったと聞きましたので、当日の講座内容をここで紹介します。少しでも当日の雰囲気が伝わり、次回以降の参加を検討する材料にしていだけたらと思います。

### ● 「肺炎 + 嚥下障害 = 誤嚥性肺炎」

まず「肺炎 + 嚥下障害 = 誤嚥性肺炎」ということで、「**摂食・嚥下障害**」についての概要を説明しました。摂食・嚥下を構成する5つのプロセス(先行期～準備期～口腔期～咽頭期～食道期)を図で示し、そのいずれかの障害で誤嚥のリスクが高くなることを述べました。一例として、当院に地域研修でいらした初期研修医の先生にお手伝いをしていただき、お菓子を食べる時に舌をできるだけ使わず、そしゃく・嚥下を試みる寸劇もお見せしました。参加者が摂取することは安全管理を考慮しご遠慮いただきましたが、会場では参加者からの笑いあり、うなずきありなど良い反応をいただくことができ、私も楽しくお話することができました。

次に、誤嚥のリスクを下げるための正しい姿勢や食事介助の例について説明しました。誤嚥を防ぐには、患者さんの状態に合わせた食形態の調整と、使用する食具も重要です。そこで、それぞれ3種類のお茶(とろみなし、中間とろみ、濃いとろみ)、3種類のスプーン(ティースプーン、カレースプーン、介助用スプーン)を参加者に回覧し、違いを体感してもらいました。

### ● 最後に…

講義の終わりに参加者から多くの質問をいただき、最後までとても盛り上がりました。全体を通して「医学的に正しく」と「参加者に分かりやすく」を両立して説明することはとても難しいと感じましたが、参加者に記入していただいた講義後のアンケートでは、おおむね良い感想をいただけて、うれしかったです。一方で、講義の予定時間を超過してしまったことや、説明用の図をスクリーンへ投影した際に拡大でぼやけてしまい、参加者から見えづかったことなど私自身が感じた反省点もありました。次回以降、私が再度担当することがあれば、この経験を生かしてより良いものにしていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



村立東海病院内科医 氷渡 柊

【問い合わせ】村立東海病院 (☎282-2188)、地域福祉課地域福祉・地域医療推進担当 (☎282-1711 内線1132)